

ある日のこと、仲良しのムカデ君と
ノミ君とイモ虫君が徐々に会い、
イモ虫君の家で宴会が始まりました。

しばらくして酒が残り少なくなると、
「ちょっと近所の酒屋まで
買いに行ってくょうか？」と
イモ虫君が言い出しました。

「イモ虫君の足では明日になってしまう。
僕が行こう。」と、ノミ君が言い出しました。

「いやいや、ノミ君はピョンピョン跳ねるから
酒がこぼれちゃう、僕が行くよ。」と
ムカデ君が言って、いそいそと部屋から出て行きました。

ノミ君とイモ虫君は、ちびりちびり飲んで待っていましたが、
なかなかムカデ君が帰ってきません。

「ううん、遅いな～。迷子になったのかな？」とイモ虫君。
「おかしいな、探しに行くよ。」とノミ君が部屋から出ると、
なんとムカデ君は玄関で靴を履いているところでした。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
0123456789;:<=>?@!"#\$%&'()*+,-.

ノミ君とイモ虫君とムカデ君と。